

会 議 録					
行田市教育委員会 令和元年 第 8 回 7 月 定 例 会					
招集年月日	令和元年 7 月 2 5 日 (木)		開会場所	行田市教育委員会 2 A 会議室	
開閉の時刻 及び宣言者	開会 7 月 2 5 日 (木) 午後 1 時 2 0 分		教育長 鈴木トミ江		
	閉会 7 月 2 5 日 (木) 午後 5 時 2 0 分		教育長 鈴木トミ江		
教育長	鈴木 トミ江	教育長職務代理者	岸 田 昌 久	仮議長	
席次番号	出席の教育長 及び委員氏名	摘 要			
1	鈴木 トミ江				
2	岸 田 昌 久				
3		鹿 山 高 彦欠席			
4		増 田 雅 久欠席			
5	大久保 英子				
議 事 参 与 者			書 記		
学校教育部長		江利川芳治		書記長 諸貫 忠秋	
生涯学習部長		藤井 宏美		書記次長 白井 克典	
学校教育部次長				書記 久積 史明	
兼学校教育課長		荻原 章			
生涯学習部次長兼図書館長					
兼視聴覚ライブラリー館長		福原 智			
生涯学習部次長					
兼ひとつくり支援課長		石川 隆美			
学校教育部副参事		今成 健			
教育総務課長		諸貫 忠秋			
学校給食センター所長		満井 房子			
スポーツ振興課長		細谷 博之			
文化財保護課長		中島 洋一			
郷土博物館長		鈴木紀三雄			
教育文化センター所長					
兼中央公民館長		風間 重文			
教育研修センター所長		春田 盛男			
学校教育課主幹		亀山 友宏			
学校教育課主幹		泉 暢彦			

会議事件名		顛	末
会 議 の 進 行 状 況		<p>教育長</p> <p>本日、鹿山委員、増田委員が欠席となっているが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数である過半数に達しているので会議は成立する。</p> <p>市民憲章唱和</p>	
	<p>議案第45号 行田市立見沼中学校区義務教育学校開校準備委員会設置要綱の制定について</p> <p>議案第46号 行田市立中央小学校・星宮小学校再編成準備委員会設置要綱の制定について</p>	<p>教育長</p> <p>本日は、傍聴人8名である。また、会議日程は議案5件である。日程第5 議案第49号について、教科用図書の採択に係る部分のみ非公開とし、採択に先立つ報告、協議並びにその他の議案は公開することによいか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長</p> <p>日程に先立ち、6月定例会の会議録について事務局に報告を求める。</p> <p>書記次長</p> <p>6月定例会、会議録報告</p> <p>教育長</p> <p>何か意見等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育総務課長</p> <p>議案第45号及び議案第46号の2議案について、一括して説明する。</p> <p>本案は、3月に策定した「行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画」において、短期的な取り組みとして位置付けております学校・地域のうち、3年後の2022年の再編を目指す2つの地域について、準備委員会を設置し、新</p>	

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>たな学校の開設に向け、保護者や地域の方との協議を行おうとするものである。</p> <p>対象となる学校・地域は、議案第45号の北河原小・荒木小・須加小及び見沼中学校、議案第46号の中央小及び星宮小学校である。</p> <p>準備委員会の構成は、児童生徒の保護者、教職員、通学区域の地域住民を各学校から同数選出し、合同組織として設置することとしており、さらに協議すべき課題ごとに5つの専門部会を設け、具体的なすり合わせの作業を行う。</p> <p>要綱の内容は、対象となる学校の内訳や、義務教育学校なのか小学校同士の再編かなどにより記述の異なる部分はあるが、目的や役割などについては、共通のものとなる。</p> <p>設置時期については、各団体からの推薦をいただき、早ければ8月中にも、委員の委嘱を行い、協議を開始したいと考えている。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>岸田委員 見沼中学校区義務教育学校の開校まで3年、準備を怠りなく進めてほしい。</p> <p>それぞれ各地域の気持ちがこもった学校であるため、新しい学校は、子供たちの安全面を配慮した学校、子供たちが希望を持って学べる環境づくり等、内容面、施設面において充実した義務教育学校としてほしい。</p> <p>校名や校歌は新しいものとするが、校歌は学校がイメージできるものであり、曲においてはどの学校も日本の音楽史に残る人たちが作っている。新しいものも子供たちが納得できるようなものとしてほしい。</p> <p>中央小と星宮小の再編についても、新しい校名となるが、以前、北河原小と南河原小の再編において、校名が懸案の一つとなっていたようである。また、忍中学校区としているが、中央小から行田中へ進学する子供もいる懸念もある。それらについても納得できるような取り組みをしてほしい。</p> <p>どちらも先例となるので、準備委員会等、しっかりとお願いする。</p>
--	--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第47号 行田市立学校給食センター 運営委員会の委嘱について</p>	<p>大久保委員 星宮小がなくなることをよく思っていない地域の方もいるよ うな感じを受けた。地域の気持ちを聞きながら進めていただき たい。</p> <p>岸田委員 自治体規模と小中学校数を県内や全国など広く把握しておく ことも必要であると考え。 例えば、八潮市は人口86,000人で、小学校10校、中学 校5校、和光市は人口80,000人で小学校9校、中学校3 校である。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>学校給食センター所長 本案は、行田市立学校給食センター運営委員会委員の任期満 了に伴い、新たに委員を委嘱しようとするものである。 職務は、学校給食センターの年間事業計画に関する事、学 校給食費に関する事、その他学校給食センター運営上必要と 認めることである。 委員定数は10名、委員長は市長、副委員長は教育長とされ、 その他の委員について、選出母体から推薦いただいた方々であ る。新任6名、再任4名となっている。 任期は、令和元年8月1日から令和2年7月31日である。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>岸田委員 運営委員会発足時から市長が委員になっている。当時の市長 が学校給食を大切にしていた想いを継承し、より良い学校給食 を提供できるよう願います。</p> <p>【全委員承認】</p>
--	---	---

<p>会 議 の 進 行 状</p>	<p>議案第48号 成年年齢引下げに伴う成人式 のあり方に関する答申につ いて</p>	<p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>ひとつくり支援課長</p> <p>本案は、教育委員会4月定例会の議決に基づき、民法の改正による成年年齢引下げ後の本市の成人式のあり方について、行田市社会教育委員会に諮問し、その答申に基づき2022年度以降の成人式の対象年齢を改正前と同じく、年度内に20歳を迎える者とする事、また、実施時期も、これまでと同様1月の成人の日を含む3連休の中日としてよいかお諮りするものである。</p> <p>なお、ご承認いただきましたら、市報や市ホームページで周知するとともに、対象者へは個別通知するとともに、新たに成人となる18、19歳へはお祝いメッセージを発信するなど検討していく。また、式の名称も併せて検討していく。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>岸田委員 成人年齢が18歳となることによる混乱が一番の心配である。答申に示された対応や周知についてお願いする。また市外へ転出し、市で成人式へ参加する方への対応もお願いする。</p> <p>大久保委員 答申のとおり、20歳を対象とすることでよいと思う。</p> <p>【全委員承認】</p>
<p>況</p>	<p>議案第49号 令和2年度使用小学校教科 用図書及び中学校教科用図 書の採択について</p>	<p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>学校教育課長</p> <p>「令和2年度使用教科書の採択事務処理について」(平成31年3月29日付 30初教科 第33号 各都道府県教育委員会教科書関係事務主管課長宛文部科学省初等中等教育局教科書課長通知)では、小学校用教科書は、すべての教科書について新たに採択を行い、中学校用教科書は「特別の教科 道徳」以外の教科書について新たに採択を行うこととされている。</p> <p>これに伴い、令和2年度から使用する行田市立小学校用教科</p>

		<p>用図書並びに中学校教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く教科用図書）について、小学校用教科書目録（平成32年度使用）、中学校用教科書目録（平成32年度使用）に登載された教科用図書のうちから採択を行う必要がある。</p> <p>また、採択の権限は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条第6号により、行田市教育委員会が有するため、議案として提案するものである。</p> <p>教育長 協議は、教科ごとに進めてよいか。</p> <p style="text-align: center;">【全委員承認】</p> <p>教育長 まず、中学校 国語について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍について、学習材のはじめと、「てびき」に目標を示し、「読み取る」「考えを深める」の設問を設け、学習の手順や学び方を提示している。</p> <p>次に、学校図書について、図、絵、写真を適所に配置し、絵画や鮮明な映像など教材の内容に併せて効果的に扱っている。</p> <p>次に、三省堂について、単元構成は、各学年とも、同じ領域ばかりが続かないよう考慮して教材が配置されている。</p> <p>次に、教育出版について、図書リストは「読んでみよう」「本の世界へ」で表紙写真を紹介している。</p> <p>次に、光村図書出版について、既習事項や先の学習に結び付けられるようにリンクが示されている。</p> <p>教育長 国語について意見はあるか。</p> <p>大久保委員 教育出版は、会話や作文の書き方の練習の教材も充実しており、生徒の力を高められるのではないかと感じた。</p> <p>岸田委員 教育出版は、古典教材のあとに近代文学が掲載されており、</p>
--	--	--

		<p>さまざまな時代にわたる言語文化に触れることができると感じた。</p> <p>また、なぜ国語を学ぶのかという動機づけがされているように感じられた。</p> <p>教育長 次に、書写について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍について、毛筆の学習後に、他の文字にも生かせるよう硬筆教材を配置し、両者を関連させながら学習に取り組めるよう構成している。</p> <p>次に、学校図書について、筆記具の特徴の違いを活用し、書写を生活の中に生かす工夫の具体的な事例について説明している。</p> <p>次に、三省堂について、「学習のまとめ」では、そこまで学習した書写技能を取り上げ、その技能をさまざまな硬筆文字に展開できるように工夫している。</p> <p>次に、教育出版について、書き込み欄は、生徒自身が問題解決を図るよう設定されているため、書写力の定着を図ることができるようにしている。</p> <p>次に、光村図書出版について、教材ごとに自己評価「学習を振り返る」を設け、ねらいを確認して、書写力を高めるようにしている。</p> <p>教育長 書写について意見はあるか。</p> <p>岸田委員 書写は文字を書く学習に主眼を置いているわけだが、道具の扱いについても大事な分野である。光村図書、東京書籍や三省堂は片付けについての記載が充実していると感じた。光村図書は資料が多く、筆の穂先やハラの位置、どういう向きで動いているのかが丁寧に書かれている。また、動作を音で表している。</p> <p>教育長 次に、社会について報告を求める。</p>
--	--	--

		<p>学校教育課主幹</p> <p>地理的分野 まず、東京書籍について、毎時間、資料等からわかることを言葉で説明する課題が示されていて、言語活動の習得ができるようになっている。</p> <p>次に、教育出版について、見開きのまとめには、学習課題に対応した「ふりかえる」コーナーが設けられ、ステップ1では、本時の学習内容の確認ができるように工夫されている。</p> <p>次に、帝国書院について、共生・環境・防災というテーマのコラムにより、現実を見据えた地理的な見方ができるよう工夫されている。</p> <p>次に、日本文教出版について、見開き2ページの終末に「学習の確認と活用」が示されており、「学習課題」に対応した理解を確認できるよう工夫されている。</p> <p>歴史的分野 まず、東京書籍について、「確認」のコーナーでは短時間で説明や要約などの言語活動を行い、1単位時間ごとに学習内容をまとめることができるよう工夫されている。</p> <p>次に、教育出版について、領土をめぐる問題については、地図資料を用いて紹介されている。</p> <p>次に、清水書院について、巻頭において、写真などを用いて時代ごとに特色を把握しまとめるための工夫として「キャッチコピーづくりをはじめよう」を提示している。</p> <p>次に、帝国書院について、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「技能をみがく」、学習した知識・概念を確認する「学習をふりかえろう」が設けられている。</p> <p>次に、日本文教出版について、見開きの上部に学習内容の導入となる写真資料や関心を高めるための地図が大きく掲載されている。</p> <p>次に、自由社について、各章のまとめごとに歴史豆辞典と称し、100字用語解説を掲載して基礎的・基本的な知識を習得しやすくしている。</p> <p>次に、育鵬社について、「歴史の名場面」や「人物クローズアップ」等の読み物資料から生徒の興味関心を引き出し、主体的に学習できるように工夫されている。</p> <p>次に、学び舎について、豊富な写真資料が用いられており、生徒の興味・関心を高め、主体的、意欲的に取り組めるよう工夫している。</p> <p>公民的分野 まず、東京書籍について、平易な本文記述がされており、特に重要な事項や生徒がつまずきやすい事項の理解</p>
--	--	--

		<p>のため、巻末の「用語解説」で補足している。</p> <p>次に、教育出版について、イラストなどを効果的に使い、意欲を引き出す工夫がされている。</p> <p>次に、清水書院について、巻頭に使用されている記号や説明、特設ページの説明が明記されている</p> <p>次に、帝国書院について、「トライアル公民」のコーナーが設けられており、様々な社会問題について意見をまとめたり話し合ったりできる構成になっている。</p> <p>次に、日本文教出版について、抽象的な社会のしくみを具体的にイメージできる図版が豊富に掲載されている。</p> <p>次に、自由社について、世界の偉人や、日本の偉人についての資料が豊富である。</p> <p>次に、育鵬社について、「学習のまとめ」では、章で学習したことをもとに、現実の問題について考えさせる構成になっている。</p> <p>地図 まず、東京書籍について、資料のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを設けることで資料を読みとる力を高め考察を深められるよう工夫されている。</p> <p>次に、帝国書院について、「地図帳の使い方」や「地図の要素」で、読図の視点や方法が示されており、基礎的・基本的な技能の習得ができるよう工夫されている。</p> <p>教育長 社会全般について意見はあるか。</p> <p>岸田委員 地理的分野で、東京書籍は、学習の見通し、展開、振り返りという流れがつかみやすく、資料、統計も適切なのではないかと感じた。</p> <p>冒頭の我々の住む地球、世界地図、世界各地、日本地図、日本各地、世界から見た日本の構成、またクイズは興味関心をひくような構成になっている。</p> <p>大久保委員 歴史的な分野について、東京書籍は、導入部分において、時代を概観しイメージさせ、展開において通史を学習し、最後に時代の特色をまとめる構成となっており、指導の流れがイメージしやすいのではないかと感じた。</p>
--	--	---

		<p>教育長 次に、数学について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍について、側注に、問題解決の進め方を示してあり、学び方が身に付くようにしてある。 次に、大日本図書について、章末の「いろいろな問題」「挑戦しよう」「もっと数学!」、巻末の「小学校の復習」「まとめの問題」など、活用問題、発展的な学習の課題が掲載されている。 次に、学校図書について、章のまとめの問題には、章で学んだことがらを身のまわりの場面や、数学の学習に活用する課題を設定している。 次に、教育出版について、「数学の広場」や「実力アップ問題」では、学習内容をさらに深めたり、広げたりする課題が提示してある。 次に、新興出版社啓林館について、解答例をノート形式で示し、ノート指導に生かせるようにしている。 次に、数研出版について、章の最後には、「知識を活用しよう」のコーナーがあり、身の回りの問題を身に付けた知識や考え方を活用し、解決できる課題が設定されている。 次に、日本文教出版について、既習事項を思い起こすための「次の章を学ぶ前に」を、すべての章の直前に設けている。</p> <p>教育長 数学について意見はあるか。</p> <p>岸田委員 東京書籍は、我々社会とのつながりの内容が多く、生徒の学ぶ意欲が高められる工夫がなされていると感じた。 学び合いの場面、ノートの書き方を示す部分、付録も工夫されている。</p> <p>大久保委員 東京書籍は、社会や職業における数学の活用を上げていた。 数学を学ぶ意義や有用性を実感できる工夫があったと感じた。</p> <p>教育長 次に、理科について報告を求める。</p>
--	--	--

	<p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍について、教科書のサイズがやや幅広のつくりになっていて見やすい。</p> <p>次に、大日本図書について、生徒が自ら探究に取り組めるよう、「わたしのレポート」「各単元の終章」等でその方法や結果例を具体的に紹介している。</p> <p>次に、学校図書について、「これまでに学んできたこと」「例題」「問い」章末や単元末の「学習のまとめ」等で基礎・基本の定着を図っている。</p> <p>次に、教育出版について、観察・実験では、方法・結果・考察を別々の欄に配置し、考察が導きやすい構成になっている。</p> <p>次に、新興出版社啓林館について報告する。</p> <p>「ふり返り」で既習事項の確認をし、「学習のまとめ」や「マイノート」で復習することができる。</p> <p>教育長</p> <p>理科について意見はあるか。</p> <p>大久保委員</p> <p>どの会社も、実験に対する安全面について、配慮がなされ、注意のマークや朱書きをするなどの工夫が見られた。</p> <p>東京書籍は実験内容が精選され、習得すべき知識技能がわかりやすく示されていると感じた。</p> <p>岸田委員</p> <p>啓林館は、基礎基本の事項が重視されていたと感じた。</p> <p>大日本図書は、単元の終わりに問題を設け、繰り返し復習ができるようになっていたので、知識が身に付くと感じた。</p> <p>東京書籍は、写真がきれい、安全面の朱書き、付録の星座早見などポイントが抑えられていると感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に、音楽について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>音楽（一般） まず、教育出版について、思考力・判断力・表現力につなげるための指針となる問いかけを「吹き出し」の形で示し、学習の観点が明確になるように工夫されている。</p>
--	---

		<p>次に、教育芸術社について、各教材には、学習目標と具体的な手順がわかりやすく示され、生徒の興味関心を惹くような内容でワークシートも構成されている。</p> <p>音楽（器楽） まず、教育出版について、各楽器の構造や各部の名称が写真やイラストで掲載され、リコーダー・ギター・和楽器の基礎的な知識や基本的な奏法などの説明がされている。</p> <p>次に、教育芸術社について、鑑賞や創作がリンクしたものと、和楽器を扱ったアンサンブルも掲載されている。</p> <p>教育長 音楽について何かあるか。</p> <p>岸田委員 音楽（一般）について教育芸術社は、鑑賞曲のバランスや教材の配置がはっきりとしているので、わかりやすく、指導しやすいのではないかと感じた。</p> <p>大久保委員 同じく教育芸術社は合唱曲の選択がとてもよいと感じた。わかりやすく、親しみやすい教材が多かったと感じた。</p> <p>岸田委員 音楽（器楽）について、教育芸術社は和楽器を含めた各楽器の特性や技法が写真で示され、説明文も生徒にとってわかりやすいのではないかと感じた。</p> <p>教育長 次に、美術について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、開隆堂出版について、題材ごとに、学習の動機付けとなる言葉(投げかけ)や興味がわく作品例を提示し、生徒の主体的な学習活動を促す工夫をしている。</p> <p>次に、光村図書出版について、視点を生活にあてた作品や写真を多く掲載し、暮らしや社会とつながる活動へと促している。</p> <p>次に、日本文教出版について、題材ごとに学びのねらいを具体的に示し、生徒の意欲を引き出し、主体的に取り組めるよう構成されている。</p>
--	--	--

		<p>教育長 美術について意見はあるか。</p> <p>大久保委員 開隆堂は、参考作品、技法、活動の様子が分かりやすいようにレイアウトされ、生徒が学習の流れをつかめるように配慮していると感じた。</p> <p>岸田委員 日本文教出版は鑑賞教材の時には、見開きを使うことで、インパクトがあり、大きく示されているので、生徒にとって鑑賞しやすいのではないかと感じた。</p> <p>教育長 次に、保健体育について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍について、発展的学習に関する注釈や「読み物」を別欄に設けたり、各ページ下に学習内容に即したクイズを設けたりして、興味が深まるような工夫が見られる。 次に、大日本図書について、生徒の興味関心を高める話題等を「トピックス」として設け、内容の理解と定着を図るような工夫が見られる。 次に、大修館書店について、カラーユニバーサルデザインにもとづき、グラフの表現や色づかいに配慮し内容を、視覚的にとらえることができる工夫が見られる。 次に、学研教育みらいについて、学習事項と関連性の深い「リンク」で、ウェブサイトを紹介し、自ら調べさせることで、主体的に取り組む姿勢を養い、より理解が深められるような工夫が見られる。</p> <p>教育長 保健体育について意見はあるか。</p> <p>大久保委員 東京書籍や学研は、見開き2ページで1単位時間となるように構成されており、授業の流れがわかりやすいと感じた。</p>
--	--	---

		<p>岸田委員</p> <p>東京書籍は教科書のサイズが一番大きく、見やすいと感じた。 また、学習内容を生徒が生かしやすいように配慮されていたと感じ、学校からも同じような報告があった。</p> <p>教育長</p> <p>次に、技術・家庭について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>技術分野 まず、東京書籍について、各内容において、基本題材と参考題材を配列し、各学校の授業時数や生徒の個性等に応じて題材を選び実習できるようにしている。 次に、教育図書について、ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の行間に余裕を持たせ、読みやすさに配慮している。 次に、開隆堂出版について、適宜学習を深める小課題などを示すとともに、応用・発展的内容は「参考」「探求」「発展」等として示され、多様な生徒に対応できるようにしている。 家庭分野 まず、東京書籍について、「言葉のページ」では、家庭分野の学習と関わる独特な言い回しや名称等について、その言葉を使って説明できるように解説している。 次に、教育図書について、学習の導入のまとめでの問いかけによる、思いや気付きを伝え合う活動やロールプレイング、グループでの話し合い、地域の人びとへのインタビューなどの学習が盛り込んである。 次に、開隆堂出版について、各学習項目の基礎的な内容を身に付けさせるために、あらかじめ考えさせたり、調べさせたりする課題を提示し、学習への関心・意欲を高めさせる工夫をしている。</p> <p>教育長</p> <p>技術・家庭全般について意見はあるか。</p> <p>大久保委員</p> <p>技術分野において開隆堂は、生徒の興味関心を高めるために、豆知識や問題解決的な学習が無理なくできるように構成されていたと感じた。</p>
--	--	--

		<p>岸田委員</p> <p>家庭分野において開隆堂の「あなたの体は食べものでできている」という印象的な言葉で、生徒の心に強く残るのではないかと感じた。</p> <p>また、技術分野において、電動工具を扱う実習の注意が丁寧にされている。</p> <p>教育長</p> <p>次に、英語について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍について、冒頭の2つの入門期パートで、慣れ親しんだ英語とそれを学ぶ楽しさを引き継ぎ、中学校で「読む」「書く」力を確実に習得できるようになっている。</p> <p>次に、開隆堂出版について、最新の話題を用い、生徒の興味・関心を高める工夫がある。自国及び外国に関する知識・理解を深める幅広い題材で、豊かな感性を育むことができる。</p> <p>次に、学校図書について、小学校で慣れ親しんだ「聞く」「話す」活動から始め、文字を導入した後で、音とつづり（フォニックス）の関係をとり上げている。</p> <p>次に、三省堂について、教材内容・言語材料・言語活動のそれぞれについて、学年を追って難易度が上がり、各段階の生徒の発達段階に適合した内容が選択され、配列されている。</p> <p>次に、教育出版について、有名なスポーツ選手を題材にし、生徒の興味・関心を引きつけるとともに、自国や多文化理解を深められる題材で幅広い知識・教養を身につけられる。</p> <p>次に、光村図書出版について、1年は身近な学校生活を話題にし、2年は地域に話題を広げ、3年では世界の国々との交流が話題となり、学年が進むにつれて広がりがある。</p> <p>教育長</p> <p>英語について意見はあるか。</p> <p>大久保委員</p> <p>学校図書は、小学校での英語活動を生かし、教科としての英語にスムーズにつながるような構成がされていたと感じた。はじめから、日常の会話に近いコミュニケーションが英語でできるよう指導に工夫がされていたと感じた。</p>
--	--	---

		<p>岸田委員</p> <p>学校図書は、取り扱う題材も身近なものが多いと感じた。難易度も適切であり、文字も見やすい大きさである。</p> <p>これより非公開とする。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>これより公開とする。</p> <p>教育長</p> <p>次に、小学校 国語について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍について、言葉を集め、文の中で使う練習をする「ことばあつめ」を設定している。巻末の「言葉の広場」を参照・活用することで、さらに豊かな語彙を身に付け、学習や日常生活に生かすことができるように工夫されている。</p> <p>次に、学校図書について、各領域の学習過程において、互いの意見を比べたり、文章の良さを見つけ、感想や意見を伝えたり、自分の考えをまとめたり広げたりして、伝え合う力が段階的に高まるように工夫されている。</p> <p>次に、教育出版について、高学年では、言葉による伝え方や聞き方のトレーニングが一つの単元として設定されており、他者とのつながりを意識できるようになっている。</p> <p>次に、光村図書出版について、読む教材で学んだことを活用させて書く活動を行い、「読むこと」と「書くこと」をつなげて、多面的に思考できるように工夫されている。案内状やお礼の手紙、報告文など実生活と結びついた活動となっている。</p> <p>教育長</p> <p>国語について意見はあるか。</p> <p>岸田委員</p> <p>光村図書は、学習過程を明確にし、見通しをもって学習するための配慮として、単元の初めに学習の進め方を示したり、学習活動を見開きで提示しているわかりやすい展開だと感じた。</p> <p>近年、若い先生が多いが、自信をもって、指導にあたれると感</p>
--	--	--

		<p>じる。</p> <p>1年生は、絵本を土台とした展開や鉛筆の持ち方など幼児教育からの接続が意識されている。</p> <p>6年生は2冊から1冊になるが、自力の学び、振り返りの学習を行う配慮がされている。</p> <p>大久保委員</p> <p>「図書館を知る学習」では、1～3年生が学校図書館、4～6年生が地域の図書館に関する教材を設定し、読書に関する指導が充実しているように感じる。</p> <p>読む教材文に関連した本の紹介では、低学年では物語を中心に、高学年では加えて科学の他に、伝記や資料なども入れて幅広く指導している。</p> <p>学習の助けとなるしるしが記載されており、先生にも子供にもわかりやすい。ローマ字学習も身近なものから導入しているためわかりやすいと感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に、書写について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍について、学年の発達段階に応じて重点化しながら、系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できるように工夫している。</p> <p>3年生以上では、学習要素を系統的に分類・整理しインデックスに示している。</p> <p>次に、学校図書について、「書き方のかぎ」で一度文字を書いたから、どこを直したらよいか、自分で考えさせる活動がある。</p> <p>児童の思考、判断を促し表現力の育成を助けるために、キャラクターの吹き出しを使って大切なポイントが説明されている。</p> <p>次に、教育出版について、毛筆学習の前後に「ためし書き」と「まとめ書き」を硬筆で教科書に書くようにしている。</p> <p>低学年では、適切に運筆する能力を高めるために1年生の教科書の巻末に水書用紙が付いており、水筆や絵筆を使って運筆指導ができるようになっている。</p> <p>次に、光村図書出版について、国語の授業と関連付けて学習できるように、教科書の教材とリンクしているので、教科学習</p>
--	--	---

		<p>の参考資料として活用することもできる。</p> <p>手紙、掲示物などの書き方などが発達段階に応じて取り上げられており、各教科の学習や日常生活において活用できるようになっている。</p> <p>次に、日本文教出版について、高学年では、書く場所や目的に合った様々な筆記具を紹介し、太さや書いたときの特徴などを写真で説明し、いろいろな場面でどの筆記具を使えばよいかを考えさせている。</p> <p>書き順に指のマークがあり、低学年でも分かりやすくなぞることができる。</p> <p>教育長 書写について意見はあるか。</p> <p>岸田委員 教育出版は、学習の流れが細分化され、きれいな字を書かせるために少しずつ丁寧な指導が展開されている。</p> <p>また、準備や片付けの写真や図版を活用し、平易に活用するなど、児童自身が見て理解し、実践できるようにしている。</p> <p>「運筆は学力の基礎」「姿勢は学力の基礎」という言葉が印象的であった。</p> <p>右ページ、左ページの構成もよい。6年生では、本市の金錯銘鉄剣が取り上げられている。</p> <p>大久保委員 3年生以上では、文字によっては手本以外にかご字での表記もあり、筆の入りや圧のかけ方が学べる。字を書くことは呼吸とも関係する。落ち着いて書くこと、筆の向きなども分かるように示されている。</p> <p>教育長 次に、社会について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍について、「調べる」で学習課題を明確にし、巻末の「〇年生で学んだこと」で振り返りを行い、学習内容の定着を図っている。キーワードを「ことば」で解説し、「まとめる」で生かせるように工夫されている。また、「いかす」では学んだ</p>
--	--	--

		<p>ことを生活に生かす工夫がある。</p> <p>次に、教育出版について、巻頭で前の学年を振り返り、巻末で本学年を振り返るページを掲載し、主体的に問題解決できるよう工夫されている。</p> <p>「ひろげる」ページとして、世界とのつながりや持続可能な社会について学ぶ内容等、発展的な学習内容を紹介し、我が国の歴史に対する愛情等を養うようにしている。</p> <p>次に、日本文教出版について、児童の話し合いの場面で発言例を示したり、様々な立場の人のインタビューを掲載したりして、児童が多角的に考えられるようにしている。「さらに考えたい問題」で、社会への関わり方を選択・判断する場面を位置づけている。</p> <p>地図、まず、東京書籍について、地図帳の使い方が一覧で明確に示され、地図記号や索引、方位、距離などが理解しやすくなっている。頁毎にも距離や方位などが示され、正確に地図を読み取ることができる。索引にチェック欄があり、調べた言葉を確認でき、学習意欲が高まるよう工夫されている。</p> <p>次に、帝国書院について、地図帳の基本的な読み方（土地利用、地図記号、縮尺、索引など）が、わかりやすく説明されている。「トライ」や「地図マスターへの道」では、色々な見方で地図を楽しみながら学習できる。表やグラフ統計などを見やすくする工夫が随所に見られる。</p> <p>教育長 社会全般について意見はあるか。</p> <p>岸田委員 日本文教出版の「学び方・調べ方コーナー」では、調べ学習の基礎・基本をしっかりとおさえることができている。 全ページに年表の小さいものが掲載されている点がよい。 また、東京書籍は、写真やイラスト、表やグラフ等の資料が多く、調べ学習を充実させる工夫がある。 ここでも金錯銘鉄剣が取り上げられている。</p> <p>大久保委員 「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」などの学習の流れがわかりやすくなっている。 地図については、帝国書院で土地利用の色づかいが見やすく</p>
--	--	---

なり、A4判となり名産品などイラストも大きくわかりやすい。

岸田委員

同じく、帝国書院は地図帳の使い方・読み取り方・活用の仕方がわかりやすく説明されているように感じる。

前回の教科書から大きく変化し、見やすくなったほか、タブレット用の部分も加わっている。

教育長

次に、算数について報告を求める。

学校教育課主幹

まず、東京書籍について、単元の導入で、日常生活と学習とのつながりを意識させ、既習事項で問題解決学習ができるように工夫している。

単元が変わっても、同じ場面を導入で示し、つながりを意識して学習に取り組めるようにしている。

次に、大日本図書について、解決方法が言葉で説明されたり、図や式等と結びつけて考えたりする活動が取り入れられている。「ひらめきアイテム集」によって、数学的な見方・考え方をまとめることができ、新しい学習に役立つ。

次に、学校図書について、「3つの学びの力を育てよう」として、「①考える力」「②判断する力」「③表す力」を冒頭にまとめている。考える、説明する、比べるなどの活動が取り入れられている。4マス関係表を使って考えさせている。

次に、教育出版について、単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な場面から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるように工夫されている。ノートの書き方が具体的に載っている。

次に、新興出版社啓林館について、演算決定のための数直線や関係を表す関係図を、系統的に学ぶことができるように工夫されている。考え方とその解決に至る過程を説明する活動や判断のよりどころについて話し合う活動などを取り入れている。

次に、日本文教出版について、巻末に確認問題や発展問題があり、個別に学習が進められるようになっている。算数の学習の仕方が巻頭や巻末の学び方ガイドに具体的に載っているので、何度も振り返りができるよう工夫されている。

		<p>教育長 算数について、意見はあるか。</p> <p>岸田委員 教育出版では、「学びのマップ」に前学年までの算数の見方・考え方が示され、既習事項から問題解決につなげるための工夫が見られた。 算数は既習事項に基づき進めていくもので、それを大切にしている印象を受けた。</p> <p>大久保委員 身近なものをテーマに、学習の始まりで日常生活を意識させた内容を設定し、考えやすく、必要感をもって学習に望めるように工夫している。 東京書籍では、色使いもきれいで毎時間の学習の進め方が統一されており、見通しをもって学習に取り組める工夫がある。</p> <p>岸田委員 東京書籍では、A4と大きいのが、低学年の算数セットに合わせている。またプログラミング教育が取り上げられている。</p> <p>教育長 理科について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍について、単元の最初の「レッツ スタート」では、活動したり、写真や絵を見たりして、疑問を見つけ、主体的に問題がつかめるようにしている。「理科のひろば」では、豊富な写真を使って、日常生活との関連について、関心意欲を高めている。 次に、大日本図書について、単元の最初に2ページ分の問題を見つけるための写真や実験、観察を見ながら、気づいたことについて話し合うことによって、問題が見つけられるようにしている。また、吹き出しによって、話合いの視点が分かるような工夫がしてある。 次に、学校図書について、予想や計画の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられるように、対話例を示しながら科学的に解決するような工夫がされている。考察では、考える視</p>
--	--	--

点が示され、結論を導けるような工夫と、さらに新たな問題を見つけられる工夫もされている。

次に、教育出版について、予想や計画の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられるように、対話をしながら科学的に解決するような工夫がされている。考察でも、対話によって結論を導く工夫がされており、また、「学びを広げよう」で新たな問題を見つける工夫もされている。

次に、新興出版社啓林館について、「結果から考えよう」で考えたことをもとに「まとめ」を行い知識の定着を図っている。単元末の「ふり返ろうまとめノート」で振り返り、「たしかめよう」「活用しよう」で、知識の定着と応用の力が身に付けられるよう工夫されている。

教育長

理科について意見はあるか。

大久保委員

東京書籍において、単元の最初で疑問や不思議を見つけることができるような、写真資料やイラストを提示し、興味・関心をもたせる工夫がされている。

ポケット図鑑や便利手帳も関心をもたせるものである。

予想や実験の場面で、子供の対話例を提示して、解決するためのヒントや補助になっている。

岸田委員

キャラクターの対話例を示しているものがあるが、あまりにも丁寧にヒントを出すと、答えが先に出ているようで子供たちが考えようとしなくなるような気がする。

科学のおもしろさは、発見する喜びが大事な場面となる。

教育長

次に、生活について報告を求める。

学校教育課主幹

まず、東京書籍について、思いや願いを実現していく学習過程で、児童が思考・判断・表現している姿が、写真、挿絵、吹き出し、作品例等で示されている。気付いたことを考え、表現することができる多様な表現活動や交流活動が豊富に示されてい

		<p>る。</p> <p>次に、大日本図書について、「がくしゅうどうぐぼこ」は、技能が高められるような内容が示されている。「せいかつことば」は、児童の思いや考えにつながる言葉が紹介され、知識が広げられるように工夫されている。</p> <p>次に、学校図書について、児童の記録の手がかりとなる発達の段階を考慮した「ものしりノート」が見開き1ページで掲載されている。巻末には様々な人と交流する場面が設けられており、自分の成長を自覚することができる工夫がされている。</p> <p>次に、教育出版について、新聞、ポスター、観察カードなどいろいろな表現方法を示している。思考を整理するための活動内容が工夫されている。</p> <p>上巻「ひと」に、聞く、かぐ、触るなどの活動例を載せ、対象に直接働きかけることができるように示されている。</p> <p>次に、光村図書出版について、「どうすれば～いいかな」のコーナーでは、学びの中で自ら見つけたり、作ったり、気付いたりするためのヒントを示し、児童が具体的なイメージがもてるように工夫されている。</p> <p>次に、新興出版社啓林館について、児童が見通しをもって活動に取り組み、主体的な学びにつながるような「めくり言葉」が示されている。「がくしゅうずかん」には、活動がさらに楽しくなるヒントが示されている。</p> <p>次に、日本文教出版について、活動のイメージや児童間の交流がしやすいように、活動の写真や作品例が数多く示されている。伝え合いの活動例として、新聞・ポスター・写真・劇等、多様で豊かな表現方法が示されている。</p> <p>教育長 生活について、意見あるか。</p> <p>大久保委員 どこの教科書会社も低学年を対象としているので、紙面構成として大きな写真やイラストが充実されている。 保護者の皆様へという欄があり、家庭でも学習ができると感じた。</p> <p>岸田委員 東京書籍では、学習に生かせる資料になるように、実物大の</p>
--	--	---

		<p>動植物のイラストが掲載されている。</p> <p>幼児教育では、育ってほしい10の姿を進めているが、それが考慮された内容だと感じた。</p> <p>大久保委員</p> <p>体験したことを表現するために、様々な活動例示がよく紹介されている。光村図書では、「ひろがるせいかつじてん」で、多様な表現方法に触れるコーナーがよいと感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に、音楽について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、教育出版について、身の回りで見付けた音を音遊びや即興的に表現する音楽づくりの学習につなげられるよう「音のスケッチ」として各学年の発達の段階に配慮した学習内容を設定している。</p> <p>児童の主体的な学びをサポートするために、透明シートを活用したり、児童が学習の際に音楽を言葉で表したりする資料を巻末に掲載したりしている。</p> <p>次に、教育芸術社について、一年間の学習の見直しをもつことができる「学びの地図」や一年間の学習を振り返ることができる「ふり返りのページ」既習事項が確認できる「おもいだそう」が設けられている。</p> <p>作曲家からのメッセージが紹介されたり、音楽をつくった人、演奏する人の工夫を考える活動が取り上げられたりするなど、著作者を意識した活動が示されている。</p> <p>教育長</p> <p>音楽について、意見はあるか。</p> <p>岸田委員</p> <p>どの教科書会社もお祭りの音楽やわらべうた、民謡など日本の伝統的な音楽に触れている。</p> <p>教育芸術社では、唱歌「夏は来ぬ」により、子供たちに文語体を体験させられる。また、お年寄りとのふれあい、人間関係につながる視点で資料があるのがよいと感じた。</p> <p>陸王のテーマで本市毎日5時に流れる曲である組曲惑星の木</p>
--	--	---

星ジュピターが取り上げられているのも生活と密着しているように。

大久保委員

教育出版の「まなびナビ」は、見開きごとに学習のねらいや学び方を提示し、見通しをもって学習に取り組む工夫がされている。

また、大きな鍵盤の写真を掲示し、実際に教科書上で指運びができるように工夫されている。

音楽の基となる音色、リズム、旋律、音階等が詳しく説明されている。

さらに、旋律の動きを体で表現するコーナーも体を使ってこういう音楽が流れるということを学ぶのにはよい。

旋律に伴奏付けするのに詳細のコードやアレンジも載っており、後々、作曲や伴奏付けをするのに役立つものである。

岸田委員

教育芸術社は、作品例やワークシート例、グループ活動時の会話の吹き出しなど、表現する力を引き出す工夫がされていると感じた。

低学年のスタートカリキュラムでは、幼児教育からの接続に工夫されているように感じた。

教育長

次に、図画工作について報告を求める。

学校教育課主幹

まず、開隆堂出版について、多様な参考作品とともに、児童がどんなことを考えながら活動しているのかを吹き出しと写真で示すことで、自由な発想や構想を促す工夫がされている。

主となる学習のめあてを赤字と下線で強調し、学習の大切なところを児童に分かりやすく伝えながら、効果的な学びを促す工夫がされている。

次に、日本文教出版について、どの題材も見開き2ページを使って数多くの参考作品を掲載し、発想や表現を助けるヒントを吹き出しやキャラクターのコメントの工夫で示している。

工作の題材では、仕組みづくりや組み合わせ方のコーナーを設けて詳しく解説し、児童の思考や構想を支援する工夫をして

		<p>いる。</p> <p>教育長 図画工作について意見はあるか。</p> <p>大久保委員 教科書に掲載されている写真によって、子供たちの創作意欲が刺激されてくると思うので、大切だと感じる。 開隆堂出版の使う道具が掲示されていることは必要と感じた。</p> <p>岸田委員 開隆堂出版は、多様な作品例が多く、想像力を膨らませるきっかけになる資料が多いように感じる。 また、左上の見出しが見やすい。 表現と造形をうまく組み合わせることで高いレベルでの表現が可能となる。「ぞうけいのひきだし」では図画工作で必要な振り返りを大切にしている。</p> <p>大久保委員 開隆堂出版は、「ぞうけいのひきだし」で道具の使い方や、絵を描くための多様な技法を紹介している点もよい。</p> <p>教育長 次に、保健について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍について、キーワードが太字になっていたり、言葉の解説が添えられていたり、必要な知識・技能が見やすくまとめられている。 次に、大日本図書について、単元のはじめに課題発見のための見開きのイラストが提示されており、児童一人一人が課題意識をもって学習に臨める構成になっている。 「もっと知りたい」では、実際の小学生の不安や悩みなどが多数提示されており、自分の生活と結びつけながら学習できるような工夫がされている。 次に、文教社について、学習活動において、様々なイラストや写真、グラフなどが提示されており、児童の興味・関心や思考の</p>
--	--	--

		<p>深まりを引き出すよう工夫されている。</p> <p>「やってみよう」では、技能を獲得するための様々な方法(例: 体ほぐしの運動や深呼吸)が具体的に提示し活用できるよう工夫されている。</p> <p>次に、光文書院について、「考えよう」では、多様な資料が掲載されており、場面が想起しやすく、思考を深める工夫がされている。</p> <p>「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」において、習得した知識を活用し、自分の考えを表現できる構成になっている。</p> <p>次に、学研教育みらいについて、教科書の使い方の説明があり、単元の内容項目に「明日につなげる」を設定し学習できるよう工夫されている。</p> <p>不定期ではあるが、各場面にこの観点を踏まえた学習できる場面が設定されている。</p> <p>教育長 保健について意見はあるか。</p> <p>岸田委員 子供たちに健康に生活を送らせるため学ばせるのが、保健であるが、健康が当たり前で、体調の変化や悩んだりすることに気付かせることが大切である。</p> <p>大久保委員 その気付き、自分の伝えたいことを書く欄がどの教科書にもある。 大日本図書は、「活用して深めよう」の欄をつくり、理解したことを自分の生活で実践できるための工夫がある。</p> <p>岸田委員 導入時に生活場面の写真を提示し、そこから課題意識をもたせ、自ら進んで学習に取り組ませようとする教科書もある。 東京書籍は、学習展開が工夫されていて、気付くー調べるー深めるーまとめるー振り返る 学習展開が工夫されている。さらに、社会問題となっている薬物乱用・たばこの注意も取り上げられているのが特徴である</p>
--	--	---

		<p>教育長 次に、家庭について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹 まず、東京書籍について、巻頭の「成長の記録」で自分の学習を振り返ることができるので、まだ知識や技能が十分に身に付いていない内容が確認できる。 ステップ毎に「めあて」と「振り返ろう」が設定されていることで、何ができるようになればよいか分かりやすい工夫がなされている。 次に、開隆堂出版について、調理や製作の題材では手順が丁寧に説明されており、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるようになっている。 重要な語句や小見出しが、一目見て分かるような太字で表記されているため、おさえるべき知識や技能が分かりやすい。</p> <p>教育長 家庭について意見はあるか。</p> <p>岸田委員 開隆堂出版は、なぜ調理するのかと疑問からはじまり主体的に取り組めるよう展開されている。</p> <p>大久保委員 東京書籍は、家族との団らんを生活に生かそうとする題材が設定されていて、家族とのふれあいを大切にする工夫がみられる。 時代に合わせ、IHの使い方等が掲示されている。</p> <p>岸田委員 開隆堂出版は、調理や制作の題材において、手順が丁寧に説明されており、知識・技能が身に付けやすくなっている。 洗濯の仕方、たたみ方も掲示され、大事な教科だと再確認した。 左ききの子への配慮もよい点である。</p> <p>教育長 次に、特別の教科 道徳について報告を求める。</p>
--	--	--

		<p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍について、活動型教材が掲載されていて、児童の多様な考えを引き出す工夫がされている。ゲーム的な要素を組み入れた教材や主人公と対話しながら考えを書き込む教材などがある。</p> <p>次に、学校図書について、「まなび」には、道徳的価値を見つけ、多面的・多角的なものの見方に誘う「心のパレット」が設定されている。体験的な学び、友達との意見交流、家族や地域の方との交流を設定し、多様な考えに触れ、自分の考えを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>次に、教育出版について、教材の前に拡大導入を設けている教材では、一人一人が道徳的課題についての考えをもちながら、学習に入れるようにしている。各教材では最後に発問例を挙げている。</p> <p>次に、光村図書出版について、心の変化を記入する「学びの記録」を各学年に3ヶ所設け、毎時間の学びを記録したり、学期ごとのまとめをしたりすることで、自分の成長を実感できるように工夫されている。</p> <p>次に、日本文教出版について、主題、導入発問、あらすじ、ねらいにせまる発問、考えたことやわかったことを確かめたり、未来への思いや課題について考えたりするための発問を全教材に掲載している。</p> <p>次に、光文書院について、考える活動を促す紙面構成になっていて、導入の問題意識をもたせる問い、展開で多面的・多角的な考えを促す問い、終末での学んだことをまとめるための問い、発展として実践意欲につなげるための問いが全教材に掲載されている。</p> <p>次に、学研教育みらいについて、いじめ防止につながる教材を様々な内容項目で取り上げ、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。「いのちの教育」を全学年の重点におき、ユニット化している。</p> <p>次に、廣済堂あかつきについて、「考えよう 話し合おう」で話し合う協同的な学習を行うことで、他者の多様な感じ方や考え方に触れ、多面的・多角的なものの見方や考え方ができるようになっている。</p> <p>教育長</p> <p>特別の教科 道徳について意見はあるか。</p>
--	--	---

		<p>岸田委員</p> <p>この教科書採択は、学習指導要領の改訂によるもので、その要因の一つに、いじめ防止や命の大切さなどを子供たちに身に付けてほしいという中央教育審議会の想いである。これら今日的な課題にしっかりと関わり考えることができているものがよいと思う。</p> <p>大久保委員</p> <p>重要課題として特別に設定している教科書はいくつかある。</p> <p>また、保護者向けの欄があり、家庭でも考えていく必要な教科でもある。</p> <p>廣済堂あかつきは、発達の段階に合わせて重点内容項目を設定、2時間連続で設定し、丁寧に指導しているように感じる。</p> <p>岸田委員</p> <p>考えやいろいろな意見を友達同士で交流し合い、その中で新たに自分の考えが広がるような学習にしてもらいたい。ただ、話し合うだけではなく、実生活につながるものとなってほしい。</p> <p>大久保委員</p> <p>学研教育みらいは、考えを深め、広げるために4種類の学び方のページを設定し、多面的に学ぶ工夫がある。</p> <p>教育長</p> <p>次に、外国語について報告を求める。</p> <p>学校教育課主幹</p> <p>まず、東京書籍について、各ユニットの終わりに2ページにわたって“Over the Horizon”という項目があり、各国の行事や文化について豊富に紹介されている。海外の様子について、カラー写真が大きく掲載されており、児童の興味・関心を引くものになっている。</p> <p>次に、開隆堂出版について、レッスンごとに学習活動が端的に日本語表記されている。基本的な語彙や表現の音声に触れる活動が主となっていて、【Let's Listen】【Let's Chant】があり、【Let's Play】では、ポインティング・ゲームやサイモンゼズなどのゲームを組み込んでいる。</p> <p>次に、学校図書について、学習活動は日本語で細かい活動の</p>
--	--	--

		<p>説明があり、聞く・話す・読む・書く・紹介し合う／尋ね合うという段階が生まれ、充実している。登場人物を通して児童に身近な場面・相手・目的が設定されている。</p> <p>次に、三省堂について、ジャンプというページで、プレゼンテーションの仕方を学ぶことができる。英文の少ない絵のストーリーページがある。「会話を続けるくふう」というページが巻末にあり、表現方法を学べる。</p> <p>次に、教育出版について、レッスンのめあてが日本語で表記されている。最小限の英語表記でイラストが中心であるが、学習活動については、日本語で端的な説明がされている。【Let's Think】で、自分のことや比較、イラストから想像する活動がある。</p> <p>次に、光村図書出版について、各ユニットの中には「World Tour」という世界の様子や文化に関する映像を見て、考える活動が取り入れられている。「世界の友だち」の中で世界の小学生の生活について知ることができる。写真も豊富で、児童の興味・関心を引く。</p> <p>次に、新興出版社啓林館について、英単語・言葉を書き写す活動時・【Chant】に英語表記がある。【chant】では、アクセント表記がある。Unit は Part1,Part2,Part3 に分かれていて、Unit と Part ごとに Goal やめあてを示す工夫がある。</p> <p>教育長 外国語について、意見はあるか。</p> <p>大久保委員 長年、行田で研究され、進めてきた英語活動があるので、それに近いものが指導しやすいのではないだろうか。</p> <p>岸田委員 英語が教科となるのも、学習指導要領改訂の目玉である。 行田市は、早期から特区により英語活動に取り組み、英語の楽しさ、発音のリズム。相手への思いやり等を重視してきた。 これから、書くことも加わるが今までの土台を大切に、先生方がとまどいのないよう、子供たちはもちろん先生にとっても、授業の流れが、わかりやすいものがあると思う。</p>
--	--	---

	<p>議案第50号 行田市教育委員会事務局職員の人事に関する決議について</p>	<p>大久保委員</p> <p>光村図書は、すべてのユニットが4ステップで構成されていて、ステップごとの学習のめあてが明確になっているのに加え、イラストや色使いにより、学習の流れがわかりやすい。</p> <p>また、繰り返し聞く、身近なストーリーは音声によるインプットを強調している。</p> <p>さらに、下段にある一言の注意書きが興味を持たせるのではないかと感じた。</p> <p>これより非公開とする。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長</p> <p>本日、議案1件が追加提案された。議案第50号を日程に追加し、議題としてよいか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長</p> <p>なお、本議案は人事に関する案件であることから非公開としてよいか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長</p> <p>以上で、本日の日程を終了し、定例会を閉会とする。</p>
--	--	--

その他特に重要と認める事項

1 次回定例会開催予定日 令和元年8月9日(金) 午後2時00分

行田市教育委員会 2A会議室

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委員

委員